

御挨拶

本日は御多忙のところ御出席下さいまして誠に有難うございます。

好きな剣道を永く続けてきただけの私にこの様な名誉な賞を戴き感謝致しております。

中学1年から始めましていつの間にか70年が経ってしまいました。その間の剣道の試合や稽古が走馬灯の様に浮かんで参ります。中学の時の辛い厳しい稽古、国体に向けての特別な気分の稽古等々。医師剣道連盟で東京は勿論、全国各地でそれぞれの高段者の先生からのご指導稽古を頂いたことなど思い出は尽きません。最近では県剣道連盟会長、中里先生の剣道の本質に関するお話に触発され「剣道とは何か」を考えつつ勉強を続けております。

又、朝日道場での研究会では手打ちそばを食べながら、「攻め、崩し、打ち」などの討論、稽古の反省をしたりして過ごす時間は至福のひとつです。今後も皆様と共に剣道に磨きをかけ、不動心の確立を目標におき稽古を続けて参りたいと存じます。本日は有難うございました。

平成21年 3月29日

新井俊之